

## 「健康日本21 あいち新計画」の推進に関する平成27年度取組状況

「健康日本21 あいち新計画（平成25年3月策定）」に基づき、計画の基本目標である「健康長寿あいちの実現」を目指して、「あいち健康の森健康科学総合センター」を拠点に県民や行政・関係機関・関係団体等が連携を図り、今年度は以下のとおり健康づくり事業を実施した。

### 基本方針（I）：「生涯を通じた健康づくり」

子どもから高齢期に至るまで、すべての世代、すべての県民の生涯を通じた健康づくりの取組を推進する。

#### ア 健康づくり推進協議会の開催

健康づくりを総合的かつ効果的に推進するため、健康づくり推進協議会を開催する。

第1回 日時：平成27年7月3日

第2回 日時：平成28年2月3日予定

#### イ 新しい健康づくりプラン推進事業

今後の健康増進施策の推進と関係機関の連携等「健康日本21 あいち新計画」の推進のため、健康増進部会を開催する。

日 時：平成28年1月21日

内 容：平成27年度の主な取組、目標項目の進捗状況

#### ウ 健康教育活動推進事業

県民が自発的に健康づくりに取り組めるよう、健康づくりに関する知識普及のため、健康教育講座（名古屋会場12回、地方会場12回の計24回）を開催し、健康教育の機会の充実を図った。

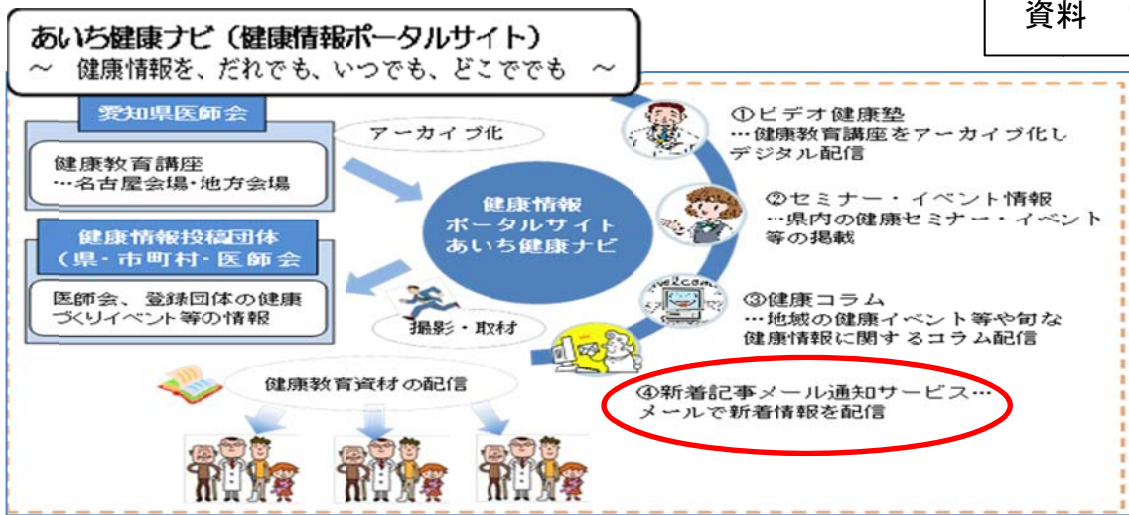
また、昨年度9月から開始している健康情報ポータルサイト「あいち健康ナビ」において、「**新着記事メール通知サービス**」を開始し、メールアドレス登録者へ個別に希望する地域のセミナー・イベントの案内や動画、健康コラムの新着情報についてメール配信し、「県民の誰もが、いつでも、どこでも」信頼性の高い健康情報をいち早く手に入れられる機能に、**通知サービスによる配信機能を新たに追加**し、機能とサービスの充実を図った。 ○委託先：（公社）愛知県医師会

新着記事メール通知サービス：平成27年10月5日開始

あいち健康ナビ：16,973 アクセス(平成27年12月末時点)

<https://ssl.aichikenkonavi.com/>





## エ あいち健康の森健康長寿フェスティバル

本県の健康づくりの拠点施設であるあいち健康プラザを始めとしたあいち健康の森の有する社会資源を改めて広く周知するイベント等を開催し、健康長寿あいちの実現に向け、県民の健康づくりに取り組む機運を盛り上げる。

### ○あいち健康の森健康長寿フェスティバル

日 時：平成 27 年 11 月 28 日（土）、29 日（日）

内 容：健康と食のイベント、健康長寿産業創出に関する展示

健康公開講座（参加人数 158 名）他

### ○ヘルスツーリズムモニターツアー

実施期間：平成 27 年 10 月から平成 28 年 2 月まで

募集人員：宿泊型 100 名、日帰り型 120 名

内 容：プラザの健康度評価及び健康づくり教室に健康の森立地施設や近隣観光地を組み込んだモニターツアーを実施



## 基本方針（Ⅱ）：「疾病の発症予防及び重症化予防」

病気の発症を予防し、合併症の予防・症状の進展等の重症化予防に重点を置いた対策を推進する。（疾患分野：がん、循環器、糖尿病、COPD（慢性閉塞性肺疾患）、歯科）

### ア 慢性腎臓病（CKD）啓発事業

慢性腎臓病の予防や早期発見を啓発するためのキャンペーン活動や健康相談を実施する。 ○委託先：（公財）愛知腎臓財団

日 時：平成 28 年 3 月（予定）

内 容：街頭キャンペーン、健康相談ほか

### イ 糖尿病指導者養成事業

糖尿病患者及び予備群の増加を抑制するために、正しい予防知識の普及を目的に地域及び学校教諭を対象に研修会を開催した。

○委託先：（公財）愛知県健康づくり振興事業団

日時：平成 27 年 7 月 22 日（参加者 42 名）、8 月 27 日（参加者 39 名）

内容：「学童期から思春期の生活習慣病予防研修（肥満・糖尿病を中心に）」

講師：あいち健康の森健康科学総合センター 医師 村本あき子氏 他



## ウ 慢性閉塞性肺疾患（COPD）対策事業

病院、診療所における医療連携を促進するため、「COPD医療連携推進のための研修会」を開催した。また、産業保健推進センター開催の研修会等で、COPDの医療連携に活用するため、昨年度作成した啓発リーフレット「COPD診療のエッセンス 2014 愛知県版」の普及啓発を図った。



○慢性閉塞性肺疾患（COPD）対策会議の開催

第1回：平成27年7月22日、第2回：平成27年12月18日

○研修会の開催 日 時：平成27年10月22日

参加者：医師、薬剤師、保健師、看護師等 88名

内 容：「COPDに関する医療連携」の重要性と実際の医療連携に関わっている講師からの事例等の紹介。「COPD-PS」問診票の活用について等

## エ 特定健康診査等指導者養成事業

保健指導を行う医療保険者の保健師・管理栄養士等に標準的な健診・保健指導の研修会を開催した。 ○委託先：（公財）愛知県健康づくり振興事業団

○計画・評価編：「身の丈に合ったデータヘルス計画の進め方」

日時：平成27年6月18日 修了者：121人

講師：あいち健康の森健康科学総合センター センター長 津下一代氏 他

○基礎・技術編：「保健指導のスキルアップを！ 事例に沿って、支援の流れを徹底解説」

日時：平成27年9月9日・10日修了者：393人

講師：あいち健康の森健康科学総合センター センター長 津下一代氏

## オ 地域・職域連携推進事業

地域の健康課題を明確にし、「健康格差の縮小」を図るため、基幹保健所等において二次医療圏ごとに地域・職域の連携推進を目的に会議等を開催した。

また、健康格差の縮小に向け、課題の解決の一助となるよう、平成22年度より市町村、保険者の協力を得て、特定健診等のデータを地域の健康格差に関する情報として分析・評価した結果を還元すると共に、関係機関や関連する会議において情報提供を実施している。

### 基本方針（Ⅲ）：「生活習慣の見直し」

生活習慣を改善し、健康の保持増進、生活習慣病を始め疾患の危険因子の低減に取り組む。（分野：栄養・食生活、身体活動・運動、休養・こころの健康、喫煙、飲酒、歯・口腔）

## ア 特定給食施設指導事業

20～60歳代男性の肥満対策として、給食施設を有する事業所を通じた働きかけを推進するために、事業所給食の利用者への食習慣アンケート（モデル）を実施した。

○調査時期 平成27年2～3月

○対象者及び数 県3保健所管内の給食施設を有する事業所 12事業所 1,765人

○主な結果

- ・肥満者の割合（ $25 \leq \text{BMI}$ ） 26.5%（20～60歳代 1,715人）
- ・肥満者は「早食い」の割合が46.8%で多かったが、他の食行動で差はみられなかった。
- ・野菜の摂取頻度が1日1回以下の者の割合は、全体で53.4%であった。

## イ たばこ対策推進事業

喫煙の健康影響に関する知識の普及、未成年者への喫煙防止（防煙）対策、受動喫煙を防止する環境づくり、禁煙希望者への禁煙支援など喫煙対策事業を実施した。

○指導者養成講習会の開催：平成28年2月12日開催予定

○受動喫煙防止対策

- ・研修会の開催：平成27年8月31日、参加者 138名
- ・受動喫煙防止対策実施施設認定事業  
認定施設（平成27年12月末 9,615施設）



○地域喫煙対策の推進（保健所における未成年者等の喫煙防止に向けた健康教育等）

○たばこ対策推進会議の開催 平成28年2月19日実施予定

○「世界禁煙デー」・「禁煙週間」における街頭キャンペーン

受動喫煙の害、禁煙や喫煙マナー向上の普及啓発

日時：平成27年5月30日

場所：名古屋駅前ナナちゃん人形周辺

参加団体：愛知県医師会、愛知県歯科医師会、

愛知県薬剤師会、名古屋市薬剤師会、愛知県歯科衛生士会、愛知県臨床検査技師会、  
愛知県小中学校長会、愛知県健康づくり振興事業団、健康保険組合連合会愛知連合  
会、全国健康保険協会愛知支部、愛知県労働基準協会、愛知県看護協会（順不同）



### 基本方針（Ⅳ）：「社会で支える健康づくり」

「ソーシャルキャピタル（※）」の醸成による地域力の向上や社会環境の整備を図り、地域や人とのつながりを深め、社会全体として健康を支え、守る仕組みを作る。

## ア あいち健康マイレージ事業

県民が生涯を通じて自主的・積極的に健康づくりに取り組むことを社会全体で支える環境づくりのために、昨年度より、市町村の協働事業として実施している。

○事業内容：県民が特定健診などの健康診断やスポーツ活動への参加など、健康づくりの取組をポイントとして貯め、一定以上のポイント獲得で県内の協力店で様々なサービスが受けられる「優待カード」が取得できる。

○実施市町村：平成27年12月末実施市町村：28市町村

（平成28年度実施予定：約43市町村）

○優待カードの発行枚数：平成27年12月末現在 7,380枚

尾張地域：2,122枚 海部地域：1,561枚 知多地域：1,706枚

西三河地域：1,518枚 東三河地域：473枚

<http://www.pref.aichi.jp/0000071847.html>



優待カード

- 協力店：平成 27 年 12 月末現在 **625 店舗**  
 (内訳) 飲食店 161 店、買い物 151 店、旅行 18 店、学習 4 店、  
 生活関連サービス 195 店、スポーツ・レジャー 64 店  
 その他 32 店

協力店  
ステッカー



※ ソーシャルキャピタル：人々の協調行動を活発にすることにより、社会の効率性を高めることのできる「信頼」、「規範」、「ネットワーク」といった、社会組織の特徴（アメリカの政治学者ロバート・パットナムの定義）

## イ 市町村健康づくり技術支援事業

「あいち健康プラザ」が有する実践的な健康づくりに関する技術等を活用し、市町村が行う健康づくり事業や健診データの分析・評価のほか、市町村健康増進計画の見直し、健康関連施設の有効活用などに対して助言や指導を行い、市町村の健康づくり技術や指導者の資質向上を図るとともに県民の健康づくりの環境整備として実施した。 ○委託先：(公財) 愛知県健康づくり振興事業団

<平成 27 年度の主な支援内容>

- 保健事業リニューアル型 (3 市)
  - ・食生活改善推進員の活動支援 (碧南市)
  - ・糖尿病予備群、成人肥満の減少に向けた効果的な教室運営 (西尾市)
  - ・妊婦・女性の喫煙対策に向けた技術支援 (知立市)
- 政策立案型 (1 市)
  - ・市の健康課題を踏まえ生活習慣病対策、職域と連携した健康支援 (安城市)



## ウ 圏域健康づくり推進特別事業

「健康格差の縮小」を実現するため、保健所において市町村等の健康格差に関する情報を収集・分析し、地域の住民等に情報提供するとともに、得られた課題の解決に向け管内市町村・関係団体・地元企業及び商工会等と連携した取組を実施した。

- 実施主体：保健所実施(二次医療圏単位)
- 内 容：研修会、出前講座、地域課題分析等調査研究事業など
  - ・企業の安全衛生担当者を対象としたCOPDに関する研修会
  - ・事業所従業員に職場健診結果の見方と結果を活用した健康管理の取組み研修会
  - ・健康まつりでの受動喫煙防止対策や特定健診・特定保健指導啓発



健康まつりでの啓発

ポケットティッシュに入れて啓発

圏域で作成した啓発資料

**受動喫煙を防ごう！**

屋外喫煙場所には7mルール

出入口から 7m

喫煙所・灰皿設置禁止

※「日本禁煙学会の見解と提言」により、灰皿の設置場所は出入口から7m以上離すこととされています。

愛知県豊川保健所

## <あいち健康プラザにおける取組>

- 健康度評価事業（6 コース 16 種類）健康状態の評価と生活習慣改善法の提案
- 実践指導事業
  - ・健康づくり教室(1 日実践クラス、宿泊型健康づくりプラン、健康カレッジ)
  - ・トレーニング施設の運営
- 指導者養成研修事業
  - ・健康づくり指導者セミナー（行政コース、企業コース）
  - ・健康づくりリーダーバンク制度
- 研究開発事業
  - ・厚生労働省「宿泊型新保健指導（スマート・ライフ・ステイ）試行事業」他
- 支援指導事業
  - ・施設内・外支援事業（市町村や企業、地域の依頼に応じた講義や実技指導）
  - ・教育普及事業（健康公開講座、健康科学教室）
  - ・学校教育支援事業(出前講座)
  - ・ネットワーク事業(医療機関や健康増進施設等の連携促進)  
「健康増進施設連絡会議」と連携し、企業・団体・自治体と情報共有及び交流
- 健康づくりの総合的な情報発信
  - ・総合情報ライブラリーの運営  
ホームページ  
E ニュースによる情報提供  
情報広報誌「あいち健康プラザニュース」の作成発行
  - ・健康増進普及月間特別行事「県民健康祭」：  
平成 27 年 9 月 19 日、20 日（参加者 29,011 人）
  - ・「県民健康の日（6 月第 3 日曜日）」記念行事等の開催